

## 2024年度事業実績

2024年度においては、本学の教育理念である「愛と奉仕」の精神を礎とする Student First をモットーに、「一人ひとり」そして「人と人の出会い」を大切にする学生本位の教育を進めるとともに、研究、地域連携活動等をより一層推進した。

### 1 教育活動

#### (1) 教育方針

個々の学生に応じたきめ細かな支援を行いながら、学生の向学意欲を喚起し、より高く幅広い知識や技能を修得させるとともに、コミュニケーション能力を身に付ける教育を実践し、学生の満足度を高める教育に努めた。

#### (2) 教育活動

大学・大学院 745 名、短期大学 362 名の計 1,107 名の在学生(2024 年 5 月 1 日現在)に対して各学部学科の特性を活かして、多岐にわたる教育活動を行った。

##### ① 大学

- 総合人間学部言語文化学科では、40 名がニュージーランドやオーストラリア、イギリス、韓国、台湾での実習や留学等に参加した。また、語学検定受験を奨励し、TOEIC で 600 点以上、700 点以上取得が各 1 名、留学生 1 名が日本語能力試験「NI」に合格した。また、「アジアコース」を新設して、韓国をはじめとするアジアの言語や文化を学ぶ科目を充実させるなど、カリキュラムを再編した。

◇海外での実習や留学等への参加者数

| 2024 年度 | 2023 年度 | 2022 年度 |
|---------|---------|---------|
| 40 名    | 53 名    | 15 名    |

- ビジネス心理学科では、心理学の基礎理論をベースに消費者心理学などビジネスに役立つ心理学やデータサイエンスの科目を学び、多様な企業や行政等において即戦力となり得る人材の養成を進めた。また、認定心理士、社会調査士等の資格の取得を積極的に推進した。ビジネス教育の成果を試すためジョブパス 3 級 2 級の試験を学内で実施し、3 級は 36 名、2 級は 32 名が受験し（他学科含む）、全国平均を上回る合格率を達成した。「インターンシップ・キャリア教育（63 名）」「企業協働型ラーニングⅠ（89 名）」「企業協働型ラーニングⅡⅢ（76 名）」のいわゆる企業研修型授業の他学科を含む履修者が過去最多となり、それに応じてプログラムを増やすなど就職支援科目を充実させることができた。
- 地域マネジメント学部では、専門教育科目に「産業活性化コース」と「社会貢献コース」を設けた 2022 年度からのカリキュラムにおいて、新科目である「地域マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ」への移行を円滑に行った。また、行政や地域企業、高校などとの連携を学修に反映させるとともに、連携した取り組みを実施することで地域社会における認知度、信頼度の向上につながった。さらに、観光専修課程を円滑に開始、遂行した。
- 看護学部では、入学前教育や初年次教育の実施により、専門教育への円滑な移行を図った。

また、1年次から学生が目標をもち、主体的に学修に取り組める環境を整え、計画的な国家試験対策に取り組んだ結果、合格率は看護師（前年度 78.1%）、保健師（前年度 100%）ともに 100%となった。

- ・ 助産学専攻科では、助産師国家試験について、対策講座や模擬試験を活用した対策を行った結果、合格率は 100%（前年度 100%）となった。

## ② 大学院

- ・ 看護学研究科では、大学院生 3 名のうち、2 名が学会発表を行った。また、2 名が精神看護専門看護師（CNS）コースを専攻している。

## ③ 短期大学

- ・ 健康栄養学科では、学生が達成感と充実感を持てるよう、栄養士実力認定試験の評価向上と「給食校外実習」での実習施設からの評価の向上を目指した教育を行った。2022 年入学者（3 年コース）の 2 名と 2023 年入学者（2 年コース）の 9 名が栄養教諭二種免許を取得するとともに、2022 年入学の 3 年コースでは継続して業務従事経験を積み、2 名が調理師、1 名が製菓衛生士の国家資格を取得した。
- ・ こども育成学科では、34 名が認定絵本士の称号を取得し、また、3 年コースでは学生からの要望を受けピアノのスキルアップ講座を開講した。

## 2 研究活動の活性化

地域ニーズに基づく研究活動、学内競争的研究費の配分及び競争的外部資金獲得を中心に活動を行った。

- ・ 研究成果を積極的に公開するため、28 名の教員が、論文発表 33 件、学会発表 41 回の計 74 回の発表を行った。
- ・ 学内研究補助金には 27 件の応募があり、学内研究 15 件、教育改革 3 件を採択した。また、同補助金による研究成果の学内紀要「山陽論叢」への発表件数は 6 件であった。
- ・ 競争的外部資金獲得については、科研費を 6 件 6,890 千円の補助金を獲得した。また、大学・短大ともに「私立大学等改革総合支援事業」タイプ 1「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の転換」に採択（計 14,200 千円の補助金加算）された。

## 3 学生募集活動の強化

「2025 年度入試に向けた学生募集活動基本方針」及び同方針に基づいた各種募集活動の具体的な内容について、全教職員を対象として研修を実施した。また、オープンキャンパス実施後に参加者及び付添者アンケートの集計と分析を行い、学生募集活動に活かすよう、情報共有を行った。

2025 年度入学生は、大学、短大、大学院合わせて 317 人（対前年度△24 人）となり、入学定員に対する充足率は、大学では 84.4%、短大で 66.1%となった。

◇2025 年度入学者の状況

|     | 学 部 ・ 学 科  |            | 入学定員      | 入学者数      | 充足率(%)        |
|-----|------------|------------|-----------|-----------|---------------|
| 大 学 | 総合人間学部     | 言語文化学科     | 60 [60]   | 42 [42]   | 70.0 [70.0]   |
|     |            | ビジネス心理学科   | 30 [30]   | 34 [42]   | 113.3 [140.0] |
|     | 地域マネジメント学部 | 地域マネジメント学科 | 50 [50]   | 32 [37]   | 64.0 [74.0]   |
|     | 看護学部       | 看護学科       | 78 [78]   | 76 [75]   | 97.4 [96.2]   |
|     | 計          |            | 218 [218] | 184 [196] | 84.4 [89.9]   |

|      |         |           |           |              |
|------|---------|-----------|-----------|--------------|
|      | 助産学専攻科  | 10 [10]   | 9 [10]    | 90.0 [100.0] |
| 大学院  | 看護学研究科  | 6 [6]     | 5 [2]     | 83.3 [33.3]  |
| 短期大学 | 健康栄養学科  | 80 [80]   | 44 [55]   | 55.0 [68.8]  |
|      | こども育成学科 | 100 [100] | 75 [78]   | 75.0 [78.0]  |
|      | 計       | 180 [180] | 119 [133] | 66.1 [73.9]  |
| 合 計  |         | 414 [414] | 317 [341] | 76.6 [82.4]  |

※〔 〕内は、2024年度入学者

### (1) 進化する学びや取組の発信

- 大学案内に「学びのアップデート」の特集を組み、各学科の「強み」や「学びのアップデート」について、オープンキャンパスや高校訪問等を通じて周知した。また、各学科の「強み」や学びの取り組み等を紹介する学科別リーフレットを見直し学生募集活動に活用した。

### (2) 募集活動の工夫等

- オープンキャンパスの実施前に、事前プレビューを実施し、学科説明及び体験型学修授業の内容についてさらなるブラッシュアップを図り、また、次回発表者等に向けた優良な事例として紹介した。
- 在学生が出身校へのメッセージを作成し、出身校訪問を実施したり、オープンキャンパス参加者への受験案内のハガキ送付や合格時に学長・副学長からのメッセージカードを送付するなど、きめ細かい活動を行った。
- 訪問時期を入試区分別に重点化するとともに、進路決定のプロセスを重視した訪問を実施した。
- 言語文化学科では、上代杯高校生英語プレゼンテーションコンテスト（9校17名応募）や、地域マネジメント学部では、高校生を対象とした地域マネジメントコンテスト（12校46件応募）を実施し、高校生に本学の学びに関心をもってもらうきっかけづくりを行った。
- 高校との継続的な繋がりによる信頼感を醸成し、出願者の増加に結び付くよう、大学見学会、高校への探究学習、出張授業への講師の派遣など高大連携に取り組んだ。特に協定校である山陽学園中学・高校とは「高大接続連絡会議」を開催し、取組みの円滑な実施と一層の充実を図った。
- 第3回アカデミックインターンシップに、35校から127人が参加した。参加者のうち、111人が3年生で、そのうち93人（83.8%）が本学に入学するなど大きな成果があった。
- 社会人が学びやすいライフスタイルに合わせた学修システムである短期大学「3年コース」等のPRを行い、社会人特別選抜で3名が入学した。

### (3) 多様な媒体による効果的な情報発信

- 受験生向けサイト「受験生NAV I」をはじめ、大学案内やリーフレット等の印刷物、テレビCMなどのマスコミ媒体、SNS・ネット広告などのWEB媒体など、多様な媒体の中から効果的なツールを選定し、オープンキャンパスへの誘導や学部の取組の紹介などの情報発信に努めた。

## 4 学生支援の強化

### (1) 学修支援の強化

- ・ 退学が懸念される学生について、教授会で対応策を協議し、アドバイザーやクラス顧問が前・後期各2回以上の定期的な面談指導や成績不振者の保護者懇談、適時的確な就職指導を行うなど、一人ひとりへの丁寧な対応に努め、修学意欲の維持・向上等を図った。
- ・ 学修サポーター制度（上級生が新入学生を支援する仕組）を導入し、テストレポート相談会や学修相談会などを実施した。
- ・ 教職員が学生相談室のカウンセラーに相談できる体制を整備し、4名の教職員が活用した。
- ・ 退学・除籍者の率は、大学は2.7%、短期大学は3.3%となっており、主な理由は、精神的・身体的理由、経済的理由、進路変更などであった。

#### ◇退学・除籍者数（2024年度）

|            | 学 部 ・ 学 科     |            | 現員数         | 退学・除籍者 | 率（％）     |
|------------|---------------|------------|-------------|--------|----------|
| 大 学        | 総合人間学部        | 言語文化学科     | 167〔166〕    | 8〔 6〕  | 4.8〔3.6〕 |
|            |               | ビジネス心理学科   | 134〔125〕    | 2〔 2〕  | 1.5〔1.6〕 |
|            | 地域マネジメント学部    | 地域マネジメント学科 | 154〔157〕    | 3〔 2〕  | 1.9〔1.3〕 |
|            | 看 護 学 部       | 看 護 学 科    | 277〔274〕    | 7〔 1〕  | 2.5〔0.4〕 |
|            | 計             |            | 732〔722〕    | 20〔11〕 | 2.7〔1.5〕 |
| 短 期<br>大 学 | 健 康 栄 養 学 科   |            | 162〔173〕    | 3〔 5〕  | 1.9〔2.9〕 |
|            | こ だ も 育 成 学 科 |            | 200〔190〕    | 9〔 5〕  | 4.5〔2.6〕 |
|            | 計             |            | 362〔363〕    | 12〔10〕 | 3.3〔2.8〕 |
| 計          |               |            | 1,094〔1085〕 | 32〔21〕 | 2.9〔1.9〕 |

※ [ ] 内は2023年度、現員数は2024年5月1日現在

### (2) 生活（キャンパスライフ）支援の充実

- ・ 課外活動への参加率は69.9%（2023年度83.1%）になった。はなみずき祭（大学祭を改称）については、参加者は、昨年度より2割程度、模擬店参加団体も大幅に増加し、活気のある大学祭になった。
- ・ 学生の悩みごと相談は、相談形態を電話相談、メール相談に加え、オンライン相談も実施し、相談件数は343件（前年度324件）と増加した。
- ・ 外国人留学生に対して、入学時のオリエンテーションをはじめ、ビザ申請、住宅斡旋、奨学金申請など多岐にわたる相談に対して適切な指導を行うとともに、卒業後の進路指導、就職活動の情報提供も実施した。
- ・ 障がいのある学生の支援については学修支援センターが中核となって、教職員と支援コーディネーターが連携して継続的な対応に努めた。

### (3) 就職支援の強化

- ・ 就職率の向上のため、キャリアセンターと学科アドバイザー等とが緊密な連携を図りながら、学生の実態把握等に努めた。また、個人面談を重視し、学生の希望や特性を踏まえ、場合

によっては、外部の専門機関（ハローワーク、サポステなど）と繋がりを持ちながらサポートを強化した。

◇学科別就職率（2025 年 5 月 1 日現在）

（単位：％）

|     | 大 学        |              |                |       | 短 期 大 学 |       |
|-----|------------|--------------|----------------|-------|---------|-------|
|     | 総合人間学部     |              | 地域マネジメント学部     | 看護学部  | 健康栄養    | こども育成 |
|     | 言語文化<br>学科 | ビジネス心理<br>学科 | 地域マネジメント<br>学科 | 看護学科  | 学科      | 学科    |
| 就職率 | 100.0      | 100.0        | 100.0          | 100.0 | 100.0   | 100.0 |

- ・ 低学年次から就職意識を醸成するため、「就活塾」や「留学生就職ガイダンス」などの課外講座に加え、「夏季英会話集中講座」を新たに実施した。また、保護者や在学生を対象にした「就職懇談会」「卒業生による業界研究会」「栄養士業界研究会」「実習病院就職説明会」「保育士合同面談会」を実施した。さらに「就職支援バス」を運行した。
- ・ 就職支援科目として、「社会人入門」や「キャリアデザイン」、また地元企業と連携した「企業協働型ラーニング」などを開講した。さらに、公務員を就職先と考えている学生を対象に教育課程とは別に公務員試験対策講座を開講した。

公務員試験対策講座受講者数

基礎講座（2 年）26 名、集中講座（3 年）6 名、直前講座（4 年）4 名

警察行政職、警察官、中学校教諭、看護師、保育士等の専門職を含む公務員及び公立病院等への就職者数は 48 名となった。

- ・ 卒業生の就職先企業等への訪問や本学を訪れる企業との面談を通じて、情報交換を行うとともに、卒業後 1 年を経過した卒業生及び就職先企業に対するアンケート調査を実施し、卒業生のフォローアップと企業との関係強化に努めた。

## 5 地域連携の推進

### (1) 地域との連携事業の推進

- ・ 地元平井学区や、包括協定先との連携・協働事業、大学間・産学連携事業などを、54 件(前年度 40 件)の連携事業を行った。また、看護学科では岡山市中区と連携しての健康フェアや健康栄養学科ではおもちゃ王国と協働した食育実践活動を行った。

### (2) ボランティア活動の推進

- ・ ボランティア派遣要請は 54 件（前年度 51 件）と増加し、チラシの掲示や各学科への情報提供を通じて、可能な限り学生に周知した。

- ・ ボランティア参加者数 380 人（2023 年度 436 人）

- ・ 主なボランティア活動

おかやまマラソン（給水所・救護）、こども食堂（操明地区）、健康チェック（東山公民館等）、平井プレイパーク、オレンジカフェひらい、朝の見守り運動（平井小学校）、

### (3) 社会人教育の充実

- ・ 本学のもつ専門的知見を地域社会へ発信するため、公開講座を2回（参加者119人）、公開講演会を1回（参加者107人）、山陽学園文化セミナー一般向け3講座（参加者23人）を開催した。
- ・ 聴講生の受け入れに関しては、説明会を開催し、開講科目の情報提供を行った。（前期2名、後期3名）

## 6 施設整備

- ・ 学生が快適に学修できるよう、整備済のA棟・G棟を除く全ての建物のWi-Fi環境の整備を行うとともに、教室内の映像・音響設備などの更新を随時行い、照明機器のLED化を実施した。また、安全で快適なキャンパスライフを過ごすことができるよう、学内トイレの洋式化とウォッシュレット及び保温機能付便座の設置を計画的に行った。
- ・ 耐震診断未実施のE棟・体育館・学生会館について、耐震化準備委員会で今後の進め方の検討を行った。さらに、業者と診断に係る費用及びスケジュール等の事前相談を行った。

## 7 大学運営の強化

### (1) ガバナンスの強化

- ・ 合同会議、教授会議、学科会議、各ワーキンググループ会議等を円滑に運営し、決定事項を組織内で共有し、その実現のため、それぞれの構成員が役割を果たした。また、時々の課題にタイムリーに対応できるよう機動的な開催に努めた。
- ・ 危機管理委員会を開催し、緊急連絡体制の体制強化を図った。また、学生、教職員を対象とする全学的な避難訓練を実施した。

### (2) 大学改革等

- ・ 大学、短期大学の経営安定化に向け、「2025年度山陽学園大学・短期大学経営改革計画」を策定した。
- ・ 認証評価機関による認証評価を受審し、評価基準に適合していると認定された。
- ・ 教育、研究をはじめとする大学運営を学内で点検・評価するためのPDCAサイクルを適切に運用した。

### (3) 教職員の資質向上

- ・ 学外の研修会への参加など、全ての教職員は様々な機会を活用して自己研鑽に努めた。
- ・ 教職員の資質向上と適正な業務執行体制を確立するため2024年度FD・SD研修会開催計画に基づき、FD（Faculty Development 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組み）・SD（Staff Development 事務職員の資質向上のための取り組み）研修を9回実施した。

#### (4) 広報活動の強化

- ・ 大学広報室を中心として、本学の知名度と認知度の向上を意識し、パブリシティの効果的な活用とともに、ホームページ、テレビCM、ネット広告等を通じた情報発信を行った。
- ・ 大学広報として、ブランドメッセージ「Student First」をコンセプトにしたテレビCMを放送するとともに、学科紹介動画（大学・短大6学科分）をホームページに掲載し、オープンキャンパスでの放映などに活用した。

### 8 山陽学園短期大学附属幼稚園

- ・ 大学キャンパス内の散策、園外保育での自然の中の遊び、山登りなど幅広い自然体験や栽培活動を通じた野菜の収穫体験等を通して、心動かす直接体験から好奇心や探究心を育むことにつながった。
- ・ 大学や短期大学の教員や学生との連携により、短期大学、大学看護学科の実習園としての役割を果たすとともに、新学習指導要領に位置づけられた英語学習など山陽学園ならではの教育を進めた。また、地域、家庭などと連携した多様な学びの場を通して、園児に心の通う人間関係の素地を養い、人と関わる力、コミュニケーション力を育んだ。

（大学との連携） 英語学習、歯磨き・手洗い指導、花の苗植えなど

（地域等との連携） お茶会、陶芸、餅つき、野菜作りなど

## 2024年度事業計画数値目標達成状況

| 【定員の確保】        |                                                                        |             |          |              |
|----------------|------------------------------------------------------------------------|-------------|----------|--------------|
| 1              | 2025年度の入学定員を100%確保する。                                                  | 大学(2025年入学) | 84.4 %   | 〔 89.9 % 〕   |
|                |                                                                        | 短大(2025年入学) | 66.1 %   | 〔 73.9 % 〕   |
| 2              | 志願者数を大学600人以上、短大200人以上にする。                                             | 大学(2025年入学) | 273 人    | 〔 285 人 〕    |
|                |                                                                        | 短大(2025年入学) | 126 人    | 〔 146 人 〕    |
| 3              | 志願度の高い総合型選抜及び学校推薦型選抜による入学者を300人以上確保する。                                 | (2025年入学)   | 268 人    | 〔 270 人 〕    |
| 4              | 山陽学園高校からの入学者を60人以上確保する。                                                | (2025年入学)   | 62 人     | 〔 60 人 〕     |
| 5              | 社会人入学者を15人以上確保する。 ※委託訓練を含む                                             | (2025年入学)   | 7 人      | 〔 10 人 〕     |
| 【教育の充実】        |                                                                        |             |          |              |
| 6              | 中途退学者・除籍者の割合を3.0%以下にする。                                                |             | 2.9 %    | 〔 1.9 % 〕    |
| 7              | GPAの全学での平均値を2.6以上とする。<br>※GPA値＝学生ごとの授業科目の成績評価（GP：0～4）の平均値              | (前期)        | 2.54     | 〔 2.64 〕     |
|                |                                                                        | (後期)        | 2.57     | 〔 2.60 〕     |
| 8              | 学生による授業評価が3.9ポイント以上の授業の割合を95%以上とする。(専任教員の授業)                           | (前期)        | 97.1 %   | 〔 93.8 % 〕   |
|                |                                                                        | (後期)        | 97.8 %   | 〔 96.5 % 〕   |
| 9              | 対話型、問題発見・解決型授業の割合を70%以上とする。                                            | (大学)        | 72.0 %   | 〔 71.9 % 〕   |
|                |                                                                        | (短大)        | 80.1 %   | 〔 73.7 % 〕   |
| 10             | アンケート調査により、「教育内容について満足している」と回答する学生が70%以上になるようにする。                      |             | 69.2 %   | 〔 65.9 % 〕   |
| 【資格取得の推進】      |                                                                        |             |          |              |
| 11             | 看護師国家試験の合格率100%を達成する。                                                  |             | 100.0 %  | 〔 78.1 % 〕   |
| 12             | 保健師国家試験の合格率100%を達成する。                                                  |             | 100.0 %  | 〔 100.0 % 〕  |
| 13             | 助産師国家試験の合格率100%を達成する。                                                  |             | 100.0 %  | 〔 100.0 % 〕  |
| 【希望する就職の実現】    |                                                                        |             |          |              |
| 14             | 全ての学科で就職率を100%にする。<br>(言語100.0%、ビジネス100%、地域100%、看護100%、栄養100%、こども100%) |             | 100.0 %  | 〔 99.2 % 〕   |
| 15             | 専門職への就職率を90%以上にする。[健康栄養学科]                                             |             | 78.4 %   | 〔 76.4 % 〕   |
|                | 専門職への就職率を95%以上にする。[こども育成学科]                                            |             | 90.9 %   | 〔 93 % 〕     |
| 【研究活動の活性化】     |                                                                        |             |          |              |
| 16             | 外部資金（科研費等）を15件以上獲得する。                                                  |             | 6 件      | 〔 13 件 〕     |
|                |                                                                        |             | 6,890 千円 | 〔 5,480 千円 〕 |
| 17             | 全ての教員が論文等の発表1件以上又は学会発表1回以上を行い、研究業績総数を140件以上とする。                        |             | 34.1 %   | 〔 36.3 % 〕   |
|                |                                                                        |             | 28 人     | 〔 29 人 〕     |
|                |                                                                        |             | 74 件     | 〔 158 件 〕    |
| 18             | 論文（教育実践報告等を含む）の「山陽論叢」への掲載件数を18件以上とする。                                  |             | 15 件     | 〔 18 件 〕     |
|                | うち、学内研究補助金により行われた研究の報告論文の掲載件数を6件以上とする。                                 |             | 6 件      | 〔 3 件 〕      |
| 【地域連携・地域貢献の推進】 |                                                                        |             |          |              |
| 19             | 学生のボランティア参加人数を延べ500人以上とする。                                             |             | 380 人    | 〔 436 人 〕    |
| 20             | 地域との連携事業を50件以上実施する。                                                    |             | 54 件     | 〔 40 件 〕     |
| 21             | 社会人教育の受講者数（公開講座、公開講演会、文化セミナー）320人以上<br>※文化セミナーは、大学・短大実施分               |             | 249 人    | 〔 238 人 〕    |
| 【その他】          |                                                                        |             |          |              |
| 22             | 報道発表件数とそれを受けて実際に報道された件数を80件以上とする。                                      |             | 61 件     | 〔 52 件 〕     |
| 23             | 図書貸出冊数を学生一人当たり10冊以上とする。                                                |             | 4.2 冊    | 〔 4.2 冊 〕    |

※〔 〕は、2023年度実績